

## 平成 27 年度上半期主な「友交会活動」

月	行事	活動内容
4月	総会	活動報告 決算報告他
5月	出前トーク	下之川地区(高齢者の健康)
6月	出前トーク	奥津地区 (高齢者の食生活)
	親睦旅行	長野県飯田市サクランボ狩り
	介護者教室	講演参加
7月	出前トーク	丹生俣地区
8月	えみ祭り	夏祭り参加
	出前トーク	八知地区(予定)
9月	敬老祝賀会	敬老行事参加
	出前トーク	地区未定

月2回実施  
環境整備事業は



## ●法人地域貢献事業●



施設・環境整備活動



地域で好評！  
「出前トーク」

地域の皆様によるボランティア組織「友交会」を結成し、地域福祉活動として美杉町内の皆様の生活や活動の場にお邪魔し、「高齢者福祉・健康・防災など」をテーマに、意見交換や交流を深める「出前トーク」を実施しております（月1回実施）。お住いの地域での開催時は、ご近所の方をお誘いの上、是非ご参加下さい。

### 【法人理念】

利用者の方と職員が、笑みと生きがいのもてる施設づくりを目ざします。また、地域貢献に努め、社会福祉法人としての役割を果たします。

### 社会福祉法人明光会平成 26 年度決算報告書

貸借対照表		合計(円)
資産の部	流動資産	271,126,265
	基本財産	392,674,516
	その他の固定資産	287,616,612
	固定資産合計	680,291,128
資産の部合計		951,417,393
負債の部	流動負債	81,468,071
	固定負債	9,921,825
負債の部合計		91,389,896
純資産の部	基本金	100,722,290
	国庫補助金等特別積立金	279,888,667
	次期繰越活動収支差額	479,416,540
	(内当期活動収支差額)	(288,179)
純資産の部合計		860,027,497
負債及び純資産の部合計		951,417,393

### 平成 26 年度事業所別稼働率(%)

デイサービスは、利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、又、ご家族様の介護の負担軽減等を目的としております。地域の皆様の介護予防を兼ねたご利用をお待ちしております。

事業	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
特養	92.1	95.3	98.2	97.9	95.6	95.4	97.1	92.8	93.1	92.7	95.8	96.6	95.1%
短期	91.3	96.2	81.5	91.7	89.9	90.0	84.7	86.9	82.3	100.4	99.8	105.0	91.6%
通所	90.4	90.0	84.7	90.0	86.0	82.2	86.0	86.2	82.3	77.5	85.6	90.0	86.3%

### 美杉だよりへの掲載

地域の皆様には施設での行事等を紹介していきます。参加頂く事で出来る限り介護に対する理解を深めて頂けたらと思います。宜しくお願い致します。

### ●新ホームページ●

今年度よりホームページが新しくなりました。法人業や情報公開（決算報告）等を掲載しております。是非一度ご確認ください。

[www.emi-care.info/](http://www.emi-care.info/)

### サービス付き高齢者向け住宅「笑みの森」

平成 27 年 11 月 伊賀市阿保  
新規事業開設！

入居者の方  
職員を募集  
します！

Q: サービス付き高齢者住宅「笑みの森」とは？

A: 高齢者単身・夫婦世帯が介護サービス(安否確認、生活相談等)や医療サービスを利用し暮らす事ができる賃貸住宅です。

笑みの森は「全室バリアフリーで 38 室」です。

- ・笑みの里デイサービスセンター「阿保」（定員 20 名）
- ・笑みの里ホームヘルパーセンター
- ・笑みの里居宅介護支援事業所

●お問合せ ☎ 090-1417-9033 東

### 特別養護老人ホーム笑みの里職員(61名)内訳

平成 27 年 7 月 1 日現在

職種	人数	職種	人数
施設長	1名	看護師	9名
嘱託医師	1名	機能訓練士	1名
介護支援専門員	1名	介護福祉士	16名
管理栄養士	1名	介護職員	20名
栄養士	1名	事務職員	6名
生活相談員	2名	管理当直員	2名



# 明光会たより



第13巻 第2号  
 (通巻24号)  
 平成27年7月10日  
 発行  
 社会福祉法人明光会  
 津市美杉町八知 729-1  
 TEL059-272-8800  
 FAX059-272-1110



黒田先生を思んで

社会福祉法人 明光会

理事長 東 明彦

今日は「七夕」です。笑美の里でも短冊に「健康、平和、家内安全」など願い事を書いて笹に飾りました。

小さな星が無数に輝く天の川の両側に存在しているベガ（裁縫の星）と牽牛（農業の星）は、あいにくの空模様で今夜は瞬きを見る事ができません。

当法人の理事として約10年間に渡り、法人運営に携わって頂きました黒田弘之先生も一つの星になり、私たちを照らして下さいます。

黒田先生は5月2日、奥様、長男で内科医の幹人先生、次男で外科医の基之先生が見守る中、基之先生が勤務する津市の永井病院で永眠されました。

4月23日、ちようど自宅から救急搬送される場に立ち会い、病室で「また、来ます！」と言葉を交わし、握手したのが最後のお別れとなりました。

先生のお人柄は、「天真爛漫」「私利私欲のない人」「面倒見が良い」「豪傑」「酒豪」「名医」などと周囲から評価されています。

又、多趣味で、ゴルフ（私の師匠）、蘭の栽培、模型作り、骨董や絵画の収集やソムリエ並みのワインの知識が豊富で、旅行など幅広く人生を謳歌されていたのを今、懐かしく思い出しています。

先生が生前誇らしげに語っていたことが3つあります。

- ① 外見からは想像できませんが（失礼？）繊細な優しい心持ちの京都人。
- ② 三重大学第一外科の出身。
- ③ 医師となった二人のご子息の働きぶりです。

先生の経歴は、昭和47年3月三重大学医学部卒業です。その後、第一外科に入局し、済生会松阪病院、松阪中央病院、三重大学病院、一志病院、志摩病院、大王病院（7年間院長として勤務）、三重県血液センターなどに勤務されています。その後、平成10年には伊賀市桐ヶ

丘で黒田クリニックを開業されました。

私は、昭和51年卒業です。

学生時代の病院実習中に過酷な第一外科で、黒田先生がきびきびと働いている姿を最もよく知っています。

私は卒業と同時に整形外科医として、志摩病院に赴任しました。

現在のようない臨床研修制度の無い時代で、国家試験の知識だけでは臨床をするのはとうてい無理でした。

そんな私を、黒田先生は親切丁寧に時間をかけ指導して下さいました。

その間、私の専門外の虫垂炎や胆石の手術にも一緒に手術室に入れてもらい、貴重な体験をしました。又、独身の私を家に招待してくれ、厚かましくも連日心づくしの食事をご馳走になりました。

私が医師になり、今年で39年が経ちますが、39年間家族も含め公私とも大変お世話になりました。本当に有難うございました。感謝の念に耐えません。

黒田クリニック開業後は、同じ名賀医師会で共に役員をし、医師会活動や地域医療に貢献し活躍されました。

しかし、平成24年に黒田先生は外見上も体力の低下が顕著となり、奥様をはじめ周囲の強い勧めもあり、長男の幹人先生が勤める山田赤十字病院を受診し、

進行した大腸癌で、余命2か月との診断を受けました。その後、治療に専念するため、ご長男にクリニックを継承され、安心されたご様子でした。

その後、3年2か月間、病魔と闘いながらも、最愛の奥様とお二人で、ヨーロッパを中心に海外旅行を10回もされ、最後となったベトナム旅行では車椅子で観光され楽しまれたそうです。

自分自身の専門分野での病気で、予後も知り尽くしておられましたが、何度か盃を交わし、楽しく食事もしました。

この笑美の里の配置医師として、約2年間勤務され、入居者の方の健康管理や診察を行って頂きました。今年になってからは、衰弱が激しく車の運転もままならない状態に陥り、電車通勤（津駅から榊原温泉口駅）や、施設職員が送迎のサポートをするなどして、最後まで2か月前まで、懸命に勤められました。その意思の強さと責任感、真の優しさには頭が下がります。

黒田先生は、患者さん、地域の人々、職員、医師仲間によろしく愛されました。私にとって、人生の良き師であり、頼もしい兄であり、友人でありました。黒田先生のご冥福を心からお祈り致します。ゆっくりお休み下さい。